

神社への初詣、 これだけ 知っていれば 大丈夫！ 地域の歴史と文化を、 神社から知ろう！

「三礼」「拍手」「礼」が基本

○初詣、お参りについて

Q1 神社の境内にはどんな建物があるのでしょうか？

堀口 神社によつて違いがありますが、一般的には次のとおりです（図1）。

- ① 本殿……ご祭神の鎮座する建物です。
- ② 幣殿……本殿と拝殿をつなぐ建物です。

参拝するときは、まず鳥居をくぐる前に服装を整えます。そして、一礼（深いおじぎ）をしてから、入ります。鳥居をくぐるということは、神社のご神域に入ることですから「失礼します、足を踏み入れさせていただきます」という気持ちでおくぐりください。

参道を歩いて拝殿に向かうのですが、その時に中央はなるべく歩かないように気をつけてください。参道の中央は「正中（せいちゅう）」といって、神様の通り道とされています。神社の参道脇には「手水舎（てみずしや）」があります。ここで両手を清め、口をすすぎます。

① 右手で柄杓（へしやく）を持って水を汲み、左手に

水をかけて清めます。

② 次に、柄杓を左手に持ち替えて、同じように右手を清めます。

③ もう一度柄杓を右手に持ち替えて、左手にくぼみを作ってそこに水を受け、その水を口に含んですすぎます。この時、柄杓に直接口をつけてはいけません。

④ 口をつけた左手に、もう一度水をかけて清めます。

⑤ 最後に、水を入れた柄杓を立て、柄の部分に水を流してから、元に戻します。

初詣などの時はかなり混雑することもあるでしょう。その場合は手水を省略す

景気の良し悪し、社会の状況に関わらず、毎年たくさんの方がお正月には初詣に出かけます。せっかとお参りをするので、作法を覚えてみませんか？

栃木県内の神社に関わるさまざまな事務や地域振興を行っている栃木県神社庁の事務局長で、神主さんでもある堀口邦夫さんに、神社の基礎知識やお参り作法などを伺いました。



栃木県神社庁参事
事務局長
堀口 邦夫さん

- ③ 拝殿……神様を拝む建物です。参拝者がお祓いを受けたり、祭典を行ったりします。
 - ④ 神楽殿……神楽を奉納するところです。
 - ⑤ 狛犬……参道の両側に魔除けとして一対で置かれる、獅子型の像です。
 - ⑥ 手水舎……お参りの前に手や口をすすぎ、清めるための建物です。
 - ⑦ 鳥居……俗界と聖域を区別するために、参道の入り口などに建てられる建造物です。
- 他に、神社の事務を執り行う「社務所」や、ご祭神と縁故の深い神様を祀る「末社」、神聖な樹木「御神木」などがあります。

Q2 鳥居をくぐる時には作法がありますか？

堀口 神社はそれぞれ広さが違いますし、独自のしきたりなどありますが、ごく一般的な作法をお話しします。

昨年のお守り、 お札は神社に納めます

○おみくじ、お札、お守り

Q4 おみくじは引いたあとはどうするのが良いのでしょうか？

堀口 近年は、引いたおみくじをその場で読み、すぐに神社が設けている結び場や境内の木の枝に結んで帰る方が、多いようです。

おみくじは、大吉や小吉といった運を見るだけではありません。仕事や生活の場でのようなことを心がければ良いかなどを伝える、神様の言葉が書かれているものです。大切に家に持って帰って、じっくりと読んでいただければ、きっと何かしら得るものがあるでしょう。

図1 神社の構成



Q3 拝殿にお参りをする時には、どのようなことに気をつけたらよいでしょうか？

堀口 拝殿にお参りをする時は、まず鈴を鳴らし、自分が神様の前にいることをお知らせします。続いてお賽銭を賽銭箱に入れ、神様に手を合わせます。その際の作法は「三礼」「拍手」「礼」です。「三礼」は「三拜」とも言います。深いおじぎを2回することです。二礼の後で手を2回打ち、最後にまた深くおじぎをします。

これが一般的なお参りの作法です。

初詣で混雑している時は鈴を鳴らせないこともあるかも知れません。その場合でも「三礼」「拍手」「礼」は必ずお守りください。





持ち帰ってじっくり読んだ後で、神社に戻す場合には、指定された場所にていねいに結んでください。お守りとしてきちんと保管される方もいらつしやいます。

Q5 古いお札やお守りはどうしたらいいでしょうか？

堀口 お守り、お札は1年限りのものから、毎年お受けになつてください。そして古いお守りやお札は、神社にお戻しされるのが、基本です。絵馬や破魔矢などのお飾りも同じです。

神社には必ず古いお守り、お札を納めるところがありますから、そちらに戻してください。そして新しいお守り、お札で、新しい1年を送られると良いでしょう。

一般の家庭だけではなく、会社でお受けになつたお札やお飾りなども、同様に1年限りですから、去年のものは神社にお戻しください。その際には、お求めになられた神社に戻されますよう、お願いします。

毎年求められたお守りをずっと取つて置かれる方もいらつしやいますが、その年にお受けになつたお守り、お札は年が改まるとともに神様にお戻しになるのが基本です。

返されたお札や縁起物を焼いて無病息災を願う「どんど焼き」という風習もありますので、神社に問い合わせて利用されるのも、良いと思います。

神社は地域の伝統文化の守り手

○地域社会と神社

Q6 初詣は、大きな神社でなくてはいけなのではないでしょうか？

堀口 そんなことはありません。むしろ、近所にある神社にお参りをしていたくことが大切です。有名な神社、大きな神社にお参りするのは、その後で良いでしょう。

Q9 新年の仕事始めに神社にお参りする会社も増えていきますか？

堀口 社長や幹部だけでお参りされる会社もありますが、できれば社員の方々も参加されると、社内の結束力を高めることになるのではないのでしょうか。また、せっかくお参りされるのであれば、代表者の方だけでも新年のご祈禱もお受けになられると良いでしょう。その場合は、もちろん事前にお申し込みをお願いします。

Q10 地域における神社の役割について、どう考えておられますか？

堀口 神社は昔から、地域の信仰を集め、地域社会の核となつてきました。神社のお祭りは神事であると同時に、人々の交流の機会でもあり、地域社会の結束を深めるための大切な行事でもありました。

ご存じですか？ 神棚あれこれ

●神棚にお参りする時は、神社へのお参りと同様に「二礼 二拍手 一礼」です。

●神棚には三社造と一社造があります。三社造の場合は中央に伊勢神宮の神札「神宮大麻」、向かって右側に氏神様の神札、左側にその他の神社の神札を置きます。一社造では奥から他の神社、氏神様、神宮大麻の順に置いていきます。

●神棚の位置は、家庭であれば一家の集う居間に、南向きまたは東向きに設置します。棚を取り付けて置きますが、どうしても付けられない場合には、タンスの上など置くことのできる場所を探して清浄にし、設置してください。

●会社の場合も南向きまたは東向きとなります。場所は会社の中心となる部屋と言われていますが、社長室やメインオフィスなどが良いでしょう。

●家族や親族に不幸があった場合は、神棚の前に白紙（半紙）を貼って「喪」に服してください。期間は49日または50日間です。

●神棚にお供えする神饌（しんせん）は米、酒、塩、水が主となります。

●12月（師走）は新年を迎えるための月ではありますが、神様を迎えるための準備の期間でもあります。家の大掃除と共に神棚を清掃し、古いお札から新しいお札に取り替え新年を迎えます。

Q7 神社にはどのような役割があるのでしょうか？

堀口 神社で神様にお仕えする人を「神職かんしき」といいます。「神主かんぬし」というのも、神職と同じです。

神社の中で神職を束ねるのが「宮司ぐうし」です。企業で言えば代表取締役役に当たります。

何人もの神職がいる神社では、宮司の他の神職を「禰宜ねぎ」「権禰宜こんねぎ」と呼びます。神社で神事に奉仕する女性を「巫女みこ」と言います。

また、神社の神様に守られている地域の人たちを「氏子うじこ」と言います。神社は神職だけでなく、氏子の皆さんにご奉仕やご協力をいただくからこそ、成り立っているのです。「総代そうだい」は氏子さんの代表の方を言います。総代さんには、神職と一緒になつて神社のさまざまな行事で大切な役

近年は、あらためて地域社会の大切さが見直されています。地域の企業活動には、地域社会の活性化が不可欠ですが、その一つの軸として、お祭りが大きな役割を果たしています。

中小企業は国の経済を支える存在と言われていますが、地域社会の発展が地域の中小企業の成長を支えていることを考えれば、神社の役割は決して小さなものではないと思います。地域の神様〓氏神様を祀っている神社は、健全な地域社会のシンボルと言つていいでしょう。

初詣や地域のお祭りに参加して、神様に手を合わせることで、地域社会の大切さを改めて感じていただけたら、神職としてこんなにうれしいことはありません。

今回は初詣の時だけでなく、ふだんのお参りの時にもぜひ気にかけてほしい作法を中心にまとめてみました。

神社にお参りすることは、地域の伝統

割を果たしていただきます。

Q8 栃木県内や宇都宮市内には、神社は何社あるのでしょうか？

堀口 栃木県内には神社が1900社以上あります。宇都宮市内にも、約160社あります。ですから、皆さんのお住まいや会社の近くにも、探せばきっとその土地の神社があるはずですよ。散歩の際などにお参りしてみてください。

神社には本務神社と兼務神社があります。神主がふだん常駐している神社（住んでいない場合も含みます）を本務神社、それ以外を兼務神社と呼んでいます。宇都宮市内の神社も、多くが兼務神社です。平均すると、1人の神主が10社を見ている計算になります。ですから、氏子さんやその代表である総代さんの協力をいただくことが不可欠です。神職と地域の皆さん



に参加することもあります。休日などには散歩がてら近所の神社を訪ねて、歴史や文化に思いをはせるのも、楽しいでしょう。神社の来歴なども図書館で調べたり、インターネットで検索すれば、すぐに分かります。そこから地域の歴史に親しんでみてはいかがでしょうか。

宇都宮市内の本務神社

（栃木県神社庁提供）

宇都宮二荒山神社
（うつのみやふたあらやまじんじや）
宇都宮市馬場通り1-1-1
TEL.028-622-5271

三祖神社（さんそじんじや）
宇都宮市満美穴町32
TEL.028-667-0518

平出雷電神社
（ひらいでらいでんじんじや）
宇都宮市平出町3848
TEL.028-661-5372

高麗神社（たかおじんじや）
宇都宮市大曾
TEL.028-622-8586

八坂神社（やさかじんじや）
宇都宮市今泉4-16-28
TEL.028-621-0248

中嶋神社（なかしまじんじや）
宇都宮市中島町
TEL.028-633-6793

高麗神社（たかおじんじや）
宇都宮市下桑島町
TEL.028-656-4764

栃木県護国神社
（とちぎけんごこくじんじや）
宇都宮市陽西町1-37
TEL.028-622-3180

塩釜稻荷神社
（しおがまいなりじんじや）
宇都宮市南一の沢町
TEL.028-636-0790

日吉神社（ひよしじんじや）
宇都宮市古賀志町352
TEL.028-652-1536

高麗神社（たかおじんじや）
宇都宮市下小池町1127
TEL.028-669-2052

智賀都神社（ちかつじんじや）
宇都宮市徳次郎町2478
TEL.028-665-5158

今宮神社（いまみやじんじや）
宇都宮市新里町丁830
TEL.028-665-0717

高麗神社（たかおじんじや）
宇都宮市上戸祭町
TEL.028-622-7505

白山神社（はくさんじんじや）
宇都宮市高松町
TEL.028-674-3366

高麗神社（たかおじんじや）
宇都宮市芦沼町970
TEL.028-674-4055

五料神社（ごりょうじんじや）
宇都宮市金田町
TEL.028-674-2083